

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年12月26日

派遣決定番号

報告回次

2日目

### 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	郡山市	代表者名	品川 万里
担当者部署	産業観光部	連絡先電話番号	024-924-2251
担当者役職	主査	担当者氏名	二瓶 達也
		連絡先E-mail	
住所	9638601 福島県郡山市朝日1丁目23番7号		

##### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	12/20(火)にリアルとオンラインのハイブリッドで基調対談・専門家からDX支援を受けた事業者の取組内容報告会を開催する。森戸講師とノーコード推進協会 代表理事 中山 五輪男 氏が基調対談(テーマ「オール郡山ではじめる新しい地域づくりのカたち」。主な内容は、多面的な視点で見えてきた、これからのデジタル社会のトレンドとは、多様なステークホルダーの連携で実現する地域課題解決とそれぞれの役割変革、地域課題、社会課題をビジネスチャンスととらえる中小企業のDX)。その後、本市がDX支援を実施した事業者7者が取組内容を報告した。(森戸講師からは各事業者に対してアドバイスをいただくとともに、その後の情報交換会でDX、ノーコード等の最新情報について各参加者にご教授いただいた。)
アドバイザーへの要望事項	なし

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年10月31日	講演(実地)	有	令和4年10月28日	350
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和4年12月20日	支援・助言(実地)	14時00分	16時30分	
				活動時間(分)	150
3-2. 派遣場所	会場名	ヒコクハロッドがくじま(4階プロセッサージュンルーム)	最寄駅	郡山駅	
	所在地	福島県郡山市南二丁目52	最寄駅からの交通手段	バス又はタクシー	

#### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	経営者、支援機関、行政	35人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	コロナ禍における業態変化・デジタル化・DX化を目指す事業者が増えてきているが、事業承継・引継ぎ、雇用の維持等、事業継続上必要な業務に時間を割かれ、デジタル化・DX化などへの取組みに二の足を踏む事業者が多い。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	中小企業等への啓発により、アフターコロナを見据えた業態変化、デジタル化・DXに取り組む中小企業等が増えること。特に、昨年度から実施する中小企業等を対象としたDX支援事業「こおりやまDXプラットフォーム」についてもアドバイスいただくことにより、採択後の事業拡大、事業PR、地域経済への波及等についてもアドバイスいただき、DX推進を支援すること。(本事業の今年度支援実施事業者数:10社(目標:10社))	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	基調対談では、「多面的な視点で見えてきた、これからのデジタル社会のトレンド」「多様なステークホルダーの連携で実現する地域課題解決とそれぞれの役割変革」「地域課題、社会課題をビジネスチャンスととらえる中小企業のDX」をお話しいただいた。プログラミング知識がなくとも導入できるノーコードといった最新情報のほか、昔と比べればスマホ自体が高性能で、スマホでDXに取り組めるなど、身近な話題を用いて参加者に分かりやすくDXを説明いただいた。また、本市でDX支援を受けた各事業者の取組内容について個別具体的なアドバイスいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	デジタル化やDX化に二の足を踏む中小企業等が専門地域がなくとも導入できるツール「ノーコード」を紹介いただき、行政、支援機関、各専門家が地域全体でDXに取り組むことでのト	

(具体的にご記入下さい)	「IT」を軸にいたるところに、行政、支援機関、各専門家が地域主体として入りに取り組むことによりよい成果が生まれることを再認識した。参加者にとっては、DXについての自らの役割、役割変革に必要性を再考する機会となるほか、地域関係者のマッチングの場となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	森戸講師には、DX支援は行政、支援機関等の関係者が地域全体で取り組むことでより有益な効果が生まれることについて具体例も交えながら助言いただいた。アドバイザー派遣第3回目で、今年度の本事業に対する総合的なアドバイスいただき、次年度以降の本市の中小企業等へのデジタル化・DXの支援策に活かすため。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者35名のうちアンケート回答者10名(大満足6名、満足3名、普通1名) 支援を受けた事業者は、今年度の取組内容について森戸講師だけではなく、支援者や参加者から様々な助言受け、また、参加者が森戸講師のデジタル社会の最新情報などの説明を受けたほか、情報交換	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	中小企業等への啓発により、アフターコロナを見据えた業態変化、デジタル化・DX化に取り組む中小企業等が増えること。また、デジタル化・DXにより販路が広がり、経営が改善されるとともに円滑な事業承継が図られるなど地域経済に資する成果を生むこと。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



